

Q：会員になるとどんなことができますか？

A:様々な会の活動に参加できます。また、定例会の様子や会員相互の情報などを掲載した会報「オアシス通信」を年5回発行して会員全員にお送りしています。

Q：体調や仕事の都合で定例会に参加できませんが、会員登録できますか？

A:ご都合の良い時にご参加ください。会報を読むだけでも自分ひとりだけではないと支えられますし、乳がんに関する情報が入手できますので遠慮なく登録してください。

Q：定例会のほかにどのような活動がありますか？

A:10月の乳がん月間を中心に、乳がんの早期発見・早期治療の啓発活動や、治療中の患者さんへの支援活動などを行っています。また食事会や体操教室などの親睦活動も行っています。

Q：会費の負担はありますか？

A:会費は無料です。啓発活動や親睦活動については有志の活動になりますので、参加者の一部参加者負担金を徴収する場合があります。

Q：会員登録の時期は決まっていますか？

A:入会は随時受け付けています。直近の定例会から参加できます。入会後は、毎年度ごとに登録継続の意思を確認します。一旦退会した後でも、いつでも再入会が可能です。

Q：乳がんになったのは10年以上前で今は治療を終了していますが、入会できますか？

A:もちろん歓迎します。先輩患者の体験を生かして、これから治療を受ける会員の方々によりきアドバイスをお願いします。

個人情報の取り扱いについて

会員に関する個人情報は、事務局である女性健康支援センターが厳正に一元管理します。親睦活動などで運営委員が電話番号等を収集することがありますが、目的以外に使用することのないよう適切に取り扱います。

● 問合せ・申込み先

板橋区女性健康支援センター

電話 03-3579-2306

FAX 03-3962-7834

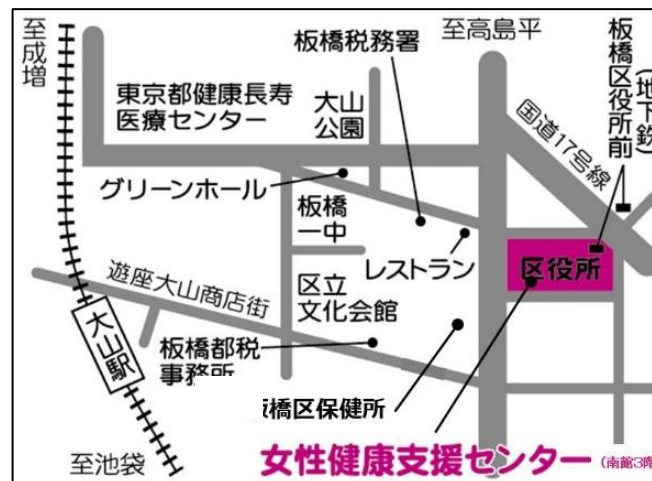
E-mail ki-zukuri@city.itabashi.tokyo.jp

● 開所日時

月曜～金曜日午前9時～午後5時
(祝日・年末年始を除く)

● 場 所

板橋区板橋 2-66-1
(板橋区役所南館3階)



乳がん体験者の会

いたばしオアシスの会

ごあんない



オアシスのシンボル ピンクリボンキルト
(平成21年度製作)

“乳がん”の体験者どうしが集い、お互いの体験や療養上の悩み、日頃工夫していることなどを語り合い、聴き合う会です。

また、自分たちの体験を通して、乳がんの早期発見・早期治療を呼びかける啓発活動や、病院を通じての患者支援活動などのピンクリボン運動にも取り組んでいます。

どうぞ、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

★発 足 平成20年9月

★対 象 板橋区在住・在勤の乳がんを体験した女性

※これから治療を始める方も参加できます。

★活動場所 板橋区女性健康支援センター
(裏面地図参照)

★運営について

板橋区女性健康支援センターを事務局に、会員有志の運営委員と協同で会の運営にあたっています。

★会の名称

「心が休まる場所に」との願いを込めて「オアシス」の名前とロゴマークを、会員みんなで決めました。



活動紹介



定例会

年6回、定例会を実施しています。4~5人のグループで交流を行う他、外部講師をおよびして勉強会を実施することもあります。

ポーチ製作

手術後にドレーンバックを使用する(※ドレーンバックを使用しない方もいらっしゃいます。)患者さんが、少しでも気持ちよく入院生活を送ることが出来るようにという体験者ならではの発想から、ドレーンバックを覆うポーチが提案されました。

病院へのポーチ贈呈

オアシスの会では、毎年10月に区内の病院に入院されている乳がん患者さんへ、ピンクリボンポーチ(ドレーンバックを使用しない方にはティッシュケース)にカードを添えて差し上げています。カードには、同じように乳がんを体験した仲間がそばにいる事と励ましの言葉をメッセージにしてお渡しします。



会員の声

体験者ばかりなので、安心して病気を語れて、昔の友達に会ったみたいでとても楽しく有意義でした

普段、沈みがちな時もあるのですが、皆さんにお会いして明るい気分になって帰ることができます

手術後の年数は違っても、共通することがたくさんあり、楽しみながら情報交換ができました

外来も入院も同病者がいなかったのが多かったけど、出席して一人ではないとホッとできました

色々な年齢の方がいらっしゃいますが、年齢など関係なく通じ合うものがあり楽しくおしゃべりできます

これからは、安心できる場所があるのでがんばれる気がします



勉強会に参加すると不安が軽減されるので、気持ちが楽になります

ポーチが、乳がん患者さんに届けられる光景を思いながら、当時の自分の状態を思い、感無量の思いでした

病院の中で小さなおしゃれを楽しんでいただきたくて心をこめてドレーンバック用のピンクリボンポーチを作りました。私たちは仲間です。皆であなたのご回復と笑顔をお待ちしています。一緒に元気になりましょう

素敵なポーチが出来上がり、楽しい作業でした。一人一人では小さな力でも、皆で取り組むと大きな力になるものですね